

国語科 学習指導案

県立光陵高等学校 総括教諭 山田 秀二

- 1 日時 平成23年11月22日(火) 5・6校時 13:40～15:10
- 2 学級 1年2組 40名(男子21名、女子19名)
- 3 科目名 国語総合
- 4 本単元で身に付けたい力
 - ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりしようとする力[「C読むこと」(1)のエに基づく]
- 5 本単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
①文章の内容や表現の仕方を評価しながら読み、書き手の意図をふまえて、作品世界に関する自分の考えを深めようとしている。	②文章の構成や展開を確かめ、作品における語句の効果的な使い方等、表現の工夫について書き手の意図と関連付けつつ、評価しながら読んでいる。	③文章の理解に役立てるための表記、語句、語彙、漢字等の意味や用法について理解し、知識を身に付けている。

6 単元・教材について

(1) 単元・教材名

- ・単元名：小説
- ・教材名：「必殺アミタワシ」(干刈あがた) (『展開 国語総合改訂版』桐原書店より)

(2) 本単元・教材における思考力・判断力・表現力等を育成する指導

- ・本教材は、高校生である主人公の視線を通して家族の関係をリアルに描き出した小説である。劇場的な語りかけの文体や、文章の所々に挟まる「ゴシゴシ」という擬声語が特徴的であり、なぜ書き手がこのような文体や表現を用いたのかを考えさせることで、作品の主題に迫ることができ、単元の目標にふさわしい教材であるといえる。
- ・少人数のグループによる話し合いにより、様々な視点からの読解を踏まえ個々の思考を深めさせ、話し合った内容をグループで一つにまとめ上げ、協力して発表させる。という過程の中で、思考力・判断力・表現力等の育成を図りたい。

7 能力育成のプロセス（8時間扱い 本時□□は6-7時間目）

次	時	評価規準 ※ ()内はAの状況を実現していると判断する際のキーワードや具体的な姿の例 (①から③は、5の評価規準の番号)	【 】内は評価方法及び Cの生徒への手だて
1	1	③語句の意味・用法について理解している。 (A:語句の意味だけでなく、派生的に使用例を調べている。)	【記述の確認】 C:文中の語句を抜き出し、ワークシートに記述するように促す。
2	2 5	②作品の情景や心情の推移など文章の展開を的確にとらえている。 (A:文中の記述に即して登場人物の心情について、根拠をふまえて的確に読み取っている。) (A:文中の記述に即して、人物の関係を図に変換し、根拠をふまえて具体的に説明している。)	【行動の観察】 【記述の確認】 C:文中の語句及び表現に注目させ、それを根拠に登場人物の考え方等を説明するよう促す。 C:文中の語句及び表現に注目させ、なぜそのような表現がされたのかを他の例をあげながら説明し、ワークシートに図式化するよう促す。
3	6 ・ 7	②作品中の特徴的な表現について、その表現意図や効果を評価しながら読み、自分の考えをまとめている。 (A:文中の語句に注目し、その表現意図や効果について、グループやクラス全体的話し合いを通じて自分の考えを深めている。) (A:これまでの学習活動で習得した知識や理解を活用し、また他者の意見を参考にして、自分の考えを深めている。)	【行動の観察】 【記述の分析】 C:「ゴシゴシ」という擬声語が、展開によって変化していることに気付かせ、なぜそのような変化が生じるのかを考えさせて、話し合いに参加するよう促す。 C:これまでの学習活動を再確認させ、他者の意見を聞いて自分の意見がどのように変わったのかを意識させて、ワークシートに書くよう促す。
4	8	①表現上の工夫に表れた書き手の意図をふまえて、作品世界に関する自分の考えを深めようとしている。 (A:今後の小説の読み方について考えようとしている。)	【記述の分析】 C:書き手の思考の流れに目を向けさせ、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのを想起させ、まとめて書くよう促す。

<p>主たる学習活動 ※主に思考力・判断力・表現力等 の育成に関わる活動に下線</p>	<p>指導上の留意点・ポイント</p>	<p>時</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・本単元での学習のねらいを確認する。 ・全文を通読し、表現に焦点を絞って印象に残った点や疑問点を箇条書きでまとめる。 ・作品に描かれた出来事をワークシートにまとめる。 ・文章中の語句の意味について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・印象に残った点や疑問点はできるだけ数多くあげさせる。 ・作品に描かれた出来事を時系列でまとめさせることで、全体の内容を大まかに捉えさせる。 	<p>1</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・母親の人物像を整理し、その考え方を読み取る。 ・父親、兄、その他の登場人物の人物像を整理し、家族の関係を読み取る。 ・主人公の登場人物に対する各々の思いを整理し、その心情を読み取る。 ・登場人物の関係をワークシートに図式化する。 ・<u>グループに分かれ、ワークシートに図式化した内容をお互いに説明する。</u> ・「ゴシゴシ」が何を意味しているかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を述べる際には、本文のどこに根拠があるかを明らかにするように促す。 ・主人公を中心に登場人物の呼称・行動・評価をマッピング形式で図式化させる。 ・説明するときには、根拠を提示させる。 ・個人の意見をワークシートに書かせる。 	<p>2 5</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>ワークシートの記述を活かしつつ、話し合い、まとめ、発表する。</u> ・<u>各グループの発表後に発表内容について全体で議論する。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループは原則4人一組とし、司会1人、発表者1人、質問者2人を決めさせる。 ・ホワイトボードは、黒板に10枚を比較できるように配置する。 ・聞く生徒に質問メモシートを記入させる。 	<p>6 . 7</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・他のグループの意見を聞いて、表現の効果と作品の主題について自分の考えをまとめる。(学習の振り返り) 	<ul style="list-style-type: none"> ・A4版一枚、1000字程度でまとめる。 ・表現の特色が特徴的な他の小説についても、紹介する。 	<p>8</p>

8 本単元における思考力・判断力・表現力等を育成する学習活動

【思考力・判断力・表現力等が育成されている姿】

- ・少人数のグループによる話し合いに積極的に参加し、様々な視点からの読解を踏まえ自分の思考を深めようとしている姿。（思考力）
- ・話し合った意見や内容をグループで協力して一つにまとめ上げようとしている姿。（判断力）
- ・グループの意見を、みんなの前で根拠を踏まえてわかりやすく説明し、質問に意欲的に答えようとしている姿。（表現力）

【活用する学習場面や言語活動の具体】

- ・登場人物の関係をワークシートに図式化しお互いに説明する。（要約・説明）
- ・グループに分かれ、表現が作品の中でどのような効果を上げているか評価し、作品の主題は何かを話し合う。（討論）
- ・グループごとに発表する。（説明）

【習得している基礎的・基本的な知識及び技能】

- ・語句の意味や用法について理解している。
- ・作品の情景や心情の推移など文章の展開を的確にとらえている。
- ・作品の構成や展開を的確にとらえている。
- ・登場人物のものの見方、感じ方、生き方等を的確にとらえている。

9 この単元の授業を行う際のポイント

- ・一般的に小説の読解は、「文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと」が中心となる。もちろん、この授業を行う際においても、この指導事項について意識し、登場人物のものの見方、感じ方、生き方等について読み取らせることを指導する必要があるが、今回の授業における指導では、「文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりする」という指導事項とその系統性を踏まえることがポイントである。
- ・最初に個人の考えをワークシートに記述させた後、その考えをグループで話し合いまとめさせるという場면을意図的に組み込むことによって既習の読解で得た基礎的・基本的な知識等を活用させ、個々の考えを深めさせたい。
- ・グループで発表した後、クラス全体で議論をすることにより、個々の読みを発展的に深めさせたい。その際、作品の主題についてまで議論が及ぶような授業を組織したい。
- ・思考を視覚化し、効果的なプレゼンテーションができるよう、ホワイトボードを有効に使用する。考えをグループで話し合いまとめさせるという場面においては、ポイントを焦点化するうえで、判断力の育成にも役立つと考えられる。